



# KARIBIB の回想



2023年度 1 次隊/数学教育/渡辺 崇人

2023 年 10 月 26 日 Vol.3

今回はナミビア独自の食文化と通貨について紹介します。そもそもですが、こちらに来て初めて口にした物のうち“これは食べられないな”と思う物に出会ったことはありません。また、渡航して 3 か月お腹を壊したこともありません。食べ物は幸いにも自分とマッチしています。ここではその一部を紹介させていただきますね。ただ、日本にいと中には「え、これを食べるの?」と思われる物もあると思います。少し注意してご覧ください笑。

パップ（別名“シマ” “サザ” “ウガリ”）



ナミビアと言えばこれです。ナミビアの主食でトウモロコシの粉をお湯で練り上げて作るだけで、作り方は非常に簡単です。粉が次第に固まっていきます。食感はお餅のように粘り気があるわけではありません。また無味なため、他の味が付いているものと一緒に食べるのが定番です。

カッパーナ



ナミビアはお肉が有名で、スーパーでは骨付きの牛・豚・鶏・羊をよく見かけます。写真はそのうちの骨なしの牛。カッパーナと呼ばれ、調理方法はいたってシンプルで焼くだけです。それに「カッパーナスパイス」と呼ばれる香辛料をつけて食べます。骨がない分、非常に食べやすいです。

オシンガリ（左）とモパネワーム（右） ※閲覧注意



写真左はオシンガリと呼ばれ、小豆ほどの豆から作られたものです。味付けは甘すぎない程度に甘く、食べやすいです。写真右はモパネワームと呼ばれるイモムシです。これは抵抗がある方がいらっしゃるかもしれませんが、食感は少し固いですが味はエビ。ビールが好きな方は好きな味だと思います。

オシクンドゥ	オシカンデラ
 <p data-bbox="169 698 778 974">マハングと呼ばれるヒエの一種を発酵させた粉末と水を混ぜてできる醸造酒です。甘味の中にほんのりとした酸味があり、これを書いているときまでずっとヨーグルトと勘違いしていたほど(笑)、下戸の僕でも非常に飲みやすかったです。</p>	 <p data-bbox="810 698 1455 974">これは日本でいう飲むヨーグルトで、写真はマンゴー味ですが他にもバナナ、ストロベリー、プレーン、スイート（自分が店で実際に見たのはこれだけですが調べるとパイナップル、グアバもあるそう）と味は豊富。個人的にはマンゴー味が好きです。</p>

少しだけナミビアの産業について紹介します。上述したようにお肉が有名で、特に北部の地域では牧畜が盛んに行われています。中でも牛赤身肉はアメリカに輸出するほど。同様に酪農も同じほど大規模に行われています。このように写真のような市場に出回っている食品を見るだけで、その国の産業や有名な物まで見えてくるのは面白いですね。

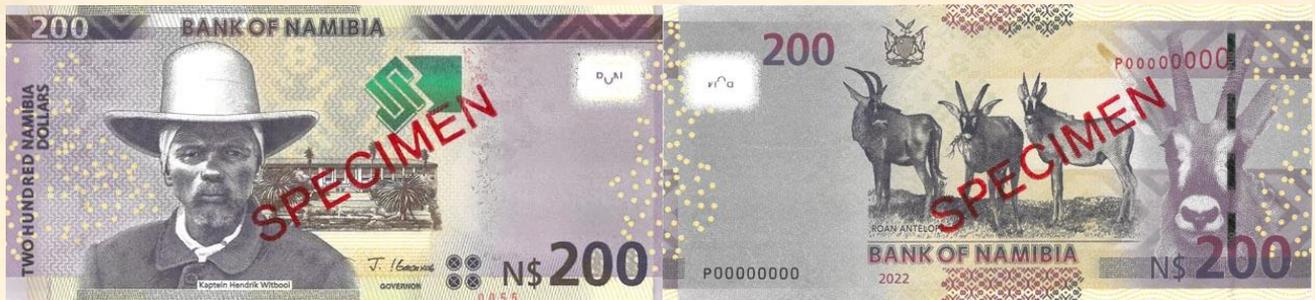
紙面の都合上一部のみ紹介させていただきましたが、ドライミート等まだまだ紹介したいものはあります。また機会がある時に載せさせていただきますね。

ナミビアの通貨

N\$200 (200 ナミビアドル) 札の

表

ウラ



(<https://www.bon.com.na/Currency/Namibian-notes.aspx>より転載)

上の写真は、ナミビアの通貨の1つである N\$200 札（\$の前に N が付いているのは米ドルと区別するためでナミビアドルという意味）です。紙幣の中で最も高額なもので 10 月 26 日現在のレートでは N\$1 ÷ 8 円となっています。そのため、日本円に換算する場合は 8 倍すればいいわけです（N\$200 ÷ 1,600 円ですね。ただこの額を出す僕の感覚としては日本で 5,000 円札を出すのに等しいです）。この紙幣の表に描かれている人物はヘンドリック・ヴィトボイ。ナミビアの独立を指導した国民的英雄です。ウラはオリックス。こちらも

ナミビアでは有名な動物ですね。勇気・優雅さ・誇りの象徴としてナミビアの国章にも描かれています。ちなみに（これは海外に慣れている人からしたら当たり前かもしれませんが）、日本円との大きな違いは小数点以下があること。会計の時に N\$200.88 なんてこともあります。小数点以下はセント硬貨で払うことができますが、お釣りで切り捨てられることもしばしばです。このように会計ではドル紙幣とセント硬貨の2種類を組み合わせています。

### ちょこっと余談

- ① 会計の際は現金以外でもクレジットやデビットといったカードも使えます。こちらでは Swipe(スワイプ) と言えば通じます。また、現金は当然 ATM でも引き出せますが Cash Out(キャッシュアウト)システムといって食料品店でもカードを添えてレジに申し付けるだけで任意の額を引き出すことができます。メリットは店によって手数料が無料であること。ただし必ず買い物とセットでなければなりません。
- ② ほぼすべてのお札にはその国の著名人の肖像画が用いられています。理由はもちろんその国の象徴だからというのがありますが、もしそれだけなら国を代表する建造物でもいいはず。それ以外にも実は深い理由があるんです。調べてみてください(^)

### ナミビアの食料品の物価

お金の話をしたため、食料品の一部物価を紹介します。

人参	玉ねぎ、じゃがいも	緑の野菜	果物
			
(安売り時) 1kg N\$18	玉ねぎ 1kg N\$32 ジャガイモ 1kg N\$24	ブロッコリー N\$44 キャベツ1玉 N\$44	リンゴ 1kg N\$23~48 イチゴ 250g N\$50

### ちょこっと余談(2)

下の写真のように大都市のレストランでは日本食を口にすることができ、



- ①サーモン巻き ②醤油 ③日本酒 などを楽しむことができます♪

- ①サーモン巻きです。こちらの人は生魚を食べると言う大変驚きます。
- ②当然のようにキッコーマンがあります。
- ③そのお店では“Japanese wine”とメニューにあり、注文したら熱燗がでてきました笑。

次回：自分が住んでいる町 Karibib について紹介します！